

## 第4章 各教科の実践例

これまで第3章までで述べてきた理論部分を実証するために、国語、社会、数学、理科、英語では、中学校の先生方を対象に実践研究講座を開講した。この講座では、研究協力員を始め、各教科5～7名の受講者と共に、指導と評価の一体化の工夫改善について実践を進めてきた。

具体的には、各教科の特性を生かすとともに、指導と評価との関係はどうあるべきか、評価を通して生徒はどう変わったかを明らかにするために、学習指導の在り方、評価規準作成上の留意点、指導と評価の計画の作成、評価方法の工夫、「実践例」の5つの項を基に展開した。紙面の都合で、「実践例」は各教科1、2例しか取り上げられなかったが、ここには取り上げなかった実践例を基に、全体的なまとめとして「成果と課題」を挙げて今後の評価の研究の方向性を明らかにした。

この章に掲載された実践例は、各学校が学校や地域の実態に合わせて適宜具体的な評価規準を作成し、それを基に、指導と評価が一体化した学習指導を行う際に生かされるものとなる。